



学校教育目標

豊かな人間性と創造的な知性、たくましい実践力を持った子どもを育てる。



すこやかな子

○自分のよさを自覚し、目標に向かって粘り強く取り組む心身共に健康な子どもを育てます。

- ◇児童の話や共感的に聴き、児童の思いや願いを大切に指導し、朝や帰りの会で児童が主体的に活動できる場面を設定したりすることで、互いのよさを認め合う「温かい学級」づくりに努めます。
- ◇日常から保護者・地域との良好な関係づくりと、積極的な情報交換に努め、保護者や地域と一体となった学級経営の充実に努めます。
- ◇「友だちアンケート」を活用したり、児童が中心となって行ういじめ防止活動の充実に努めます。
- ◇児童集会、交流給食、通学班などの縦割り活動を充実させ、異学年交流の一層の充実に努めます。
- ◇委員会活動では、学校生活をよりよくしていくための気付きを児童から引き出し、自分たちでできることを主体的に考え実行させるように努めます。
- ◇道徳教育や人権集中学習などを通して他を思いやる心の育成を図るとともに、朝活動「創作」や「みどりの時間」を通して豊かな感性の育成を図ります。

創り出す子

○主体的に考え、自分の考えを伝え合い、学び合い、よりよい考えを求めようとする子どもを育てます。

- ◇児童に身に付けさせたい資質や能力を明確にし、授業のねらいや振り返りを行うことで、基礎・基本の習得を図ります。
- ◇「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、児童が自ら考えたいくなる課題や、協力して課題を解決していく学習過程の工夫に努めます。
- ◇ICTの利活用及び朝活動「創作」などの言語活動や体験活動の充実を図ることを通して、思考力・判断力・表現力を育みます。
- ◇「家庭学習の手引き」により家庭学習の意義や進め方を提示し、家庭と連携して家庭学習の習慣化に努めます。
- ◇「じゅぎょうのやくそく」による学習規律の徹底を図ることで、互いの意見を尊重しながら学び合う、楽しい学びを推進します。
- ◇自分の安全は自分で守ることを自覚し、登下校の安全、災害への対処など、安全について主体的に考え行動できる子どもを育てます。

共に生きる子

○思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合い、課題解決に向けて協働する子どもを育てます。

- ◇学級活動や道徳教育における話し合い活動の充実を図ったり、朝や帰りの会で児童が主体的に活動できる場面を設定したりすることで、互いのよさを認め合う「温かい学級」づくりに努めます。
- ◇日常から保護者・地域との良好な関係づくりと、積極的な情報交換に努め、保護者や地域と一体となった学級経営の充実に努めます。
- ◇「友だちアンケート」を活用したり、児童が中心となって行ういじめ防止活動の充実に努めます。
- ◇児童集会、交流給食、通学班などの縦割り活動を充実させ、異学年交流の一層の充実に努めます。
- ◇委員会活動では、学校生活をよりよくしていくための気付きを児童から引き出し、自分たちでできることを主体的に考え実行させるように努めます。
- ◇道徳教育や人権集中学習などを通して他を思いやる心の育成を図るとともに、朝活動「創作」や「みどりの時間」を通して豊かな感性の育成を図ります。

開かれた特色ある学校づくりを進めます

- ◇連絡帳や電話による家庭との積極的な情報交換に努め、ニーズに応じた素早い対応を心がけます。
- ◇学校・学級だよりや、学校ホームページによって学校の様子を家庭や地域に積極的に発信します。
- ◇児童、保護者、職員でつくる学年行事やPTA活動を行うことで、子どもの豊かな体験につなげます。
- ◇遊び場事業、読み聞かせボランティア活動、総合的な学習の時間などに、保護者や地域の皆様の協力を得て、地域とともに子どもを育てる教育の推進を目指します。

◇保護者・地域と連携した月田小コミュニティスクールを推進し、地域とともにある学校を目指します。



学習参観日
多くの保護者の方々が参観
してくださいました。

＜学校経営方針＞

- (1) 自分のよさを自覚させるとともに、他を認め、思いやりの心を持った豊かな人間性の育成に努める。
- (2) 少人数のよさを生かし、全員がわかる、できる喜びが実感できる授業の実現を図る。
- (3) 校内研修の充実による主体的・対話的で深い学びを実現するとともに、確かな学力の定着を図る。
- (4) 基本的な生活習慣を確立させ、心身の健やかな発達と体力の向上に努める。
- (5) 児童が夢や希望を持ち、目標に向かってねばり強く取り組んでいけるようなキャリア教育の推進を図る。
- (6) 月田小学校コミュニティスクールを発展させ、地域の物的・人的活用による地域とともにある学校づくりを推進する。
- (7) 全教職員が「チーム月田小」の一員として学校経営に参画する学校づくりを推進する。

教職員研修を進め、指導力向上に努めます

- ◇一人一授業や要請訪問などを活用し、互いの授業参観を通して実践的に学び合いながら、教職員研修の推進、指導力の向上に努めます。
- ◇教職員同士での情報交換及び保護者・地域との連携を通して、児童理解に努めます。
- ◇教職員全員が学校経営への参画意識を持って校務分掌の仕事を行います。また、その中で互いに知恵を出し合って組織的に学校教育目標の具現化に努めます。
- ◇勤務時間の客観的な把握、最終退勤時刻の設定などを通して働き方への意識改革を図るとともに、組織的な校務の推進を図り、余裕を持って児童と向き合える学校づくりに努めます。



一人一授業の検討会
よりよい授業を目指して
真剣な表情で検討

子どもたちの笑顔があふれ、信頼される学校づくり